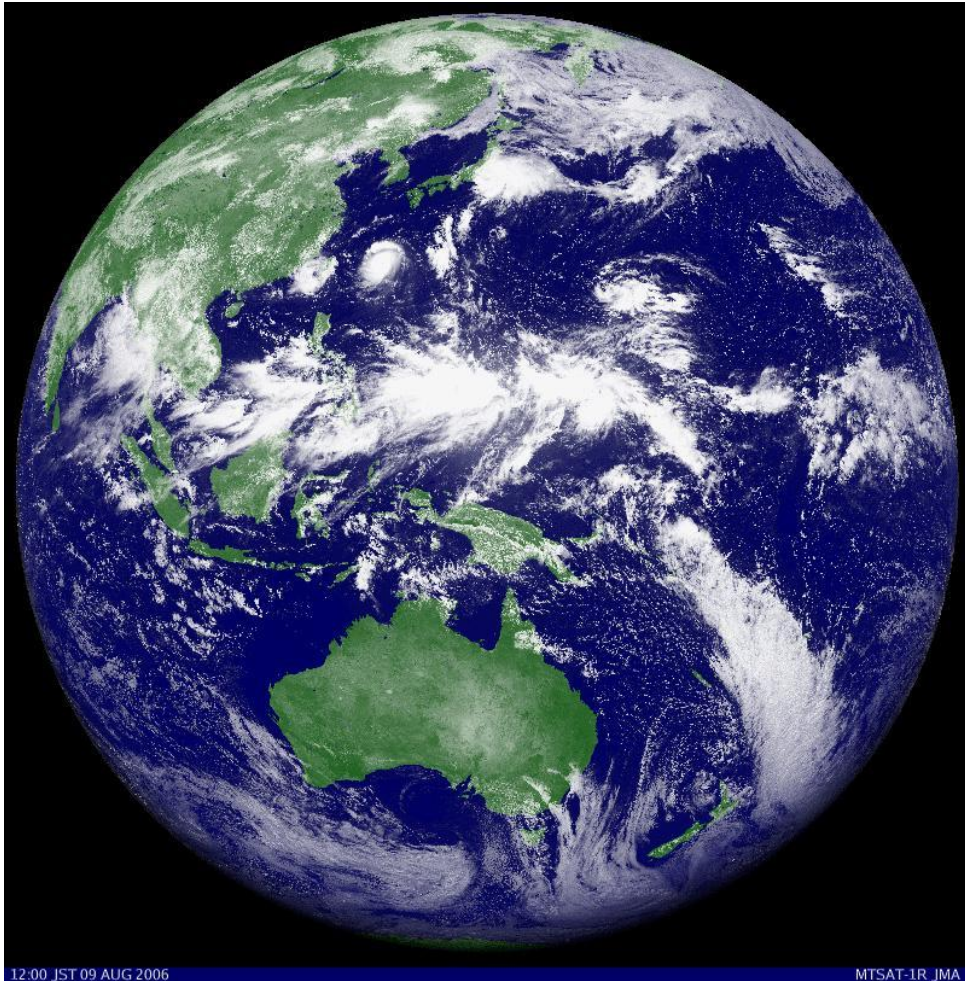


北区(きたく)環境大学(かんきょうだいがく)
子ども向け環境基礎(きそ)講座(こうざ) 2014
大気(たいき)の流れ(ながれ)



2006.08.09 衛星写真 気象庁 提供

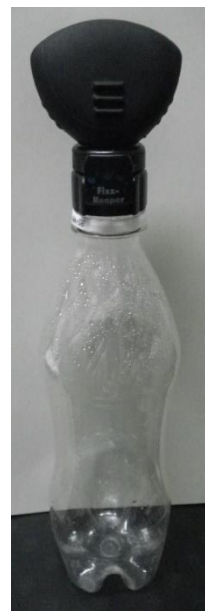
今日の天気(てんき)はどう？
なぜ、風は吹(ふ)くのかな？
なぜ、雲(くも)はできるのだろう？

「大気の流れ」を考えてみよう！

実習③: 雲(くも)のできる様子(ようす)を見てみよう!

<用意(ようい)するもの>

- 炭酸(たんさん)抜(ぬ)けま栓(せん) 1個
- 空(から)の炭酸用500mlペットボトル 1個
- 水もしくはエタノール 少量(しょうりょう)
- 液晶(えきしょう)温度計(おんどけい)(シールタイプ) 1個



<方法(ほうほう)>

- ① 空の500mlペットボトルに水もしくはエタノールを少しだけ入れる。
- ② 液晶(えきしょう)温度計をペットボトルに入れる。
- ③ 炭酸抜(ぬ)けま栓でペットボトルに栓をする。
- ④ ペットボトルの中の気温(きおん)は何度かな?
- ⑤ 炭酸抜(ぬ)けま栓で、ペットボトルの中に空気を入れていく(20回ほどつまみを押(お)す)。決して空気を入れすぎないこと!!
- ⑥ ペットボトルの中の気温がどうなるか確認しよう。何度になった?
- ⑦ 炭酸抜(ぬ)けま栓のキャップを一気(いっき)に開(ひら)く(‘ポン’と音がするよ)。
- ⑧ ペットボトルの中の様子(ようす)を観察しよう。雲みたいなものが出来ているかな?

<結果(けっか)>

1. ペットボトルの中の気温はどうなった?(方法⑤)
2. ペットボトル内に雲はできた?(方法⑦)

その他(ほか)に気付(きづ)いたことは?